

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮 城

【学校名】 宮 城 県 泉 高 等 学 校

【テーマ】 I II III **IV** V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

ICTの有効活用と外部機関との積極的な交流により実際の英語使用場面を経験する機会を増やし、コミュニケーション能力を高める指導。

【実施学年、部、講座等】

第1学年 英語科1年1組 (男子12名・女子27名)

第2学年 英語科2年1組 (男子 8名・女子30名)

第3学年 英語科3年1組 (男子13名・女子28名)

【目的・ねらい】

- (1) ICTを有効活用することにより教室での英語学習をより実践的なものにし、生徒が生きた英語素材に触れる機会を多くする。
- (2) 生徒が英語を通じて自己表現をする機会を多くするために、英語科発表会や英語科合宿、海外研修などの行事を設定し、英語による発信力を高める。
- (3) 生徒の国際交流や異文化理解に対する興味関心を高め、将来的にグローバル化に対応できる資質を身につけさせる。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科 (英語) ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動
- ・教科以外での取組 ()

【実践内容等】

(実施内容)

- (1) ICTを活用した英語表現の授業(対象生徒 2年1組38名)
 - ・教科書の内容に関連したYou Tube動画をiPodにダウンロードし、CAI教室で視聴させ、それについて自分の考えを英語で書かせる(英文については教室にあるPCを使ってサーバーに保存させる)。
 - (例) 車いすテニスプレーヤー国枝慎吾さんの動画、東京オリンピック誘致に関わる佐藤真海さんのプレゼンテーション動画、IOCやIPCのYou Tube動画。
 - ・iPodにダウンロードしたTEDやCNN Student Newsの動画を視聴させ、感想を英語で書かせる
 - (例) 「紙の建築」「最高の幼稚園」「御嶽山噴火」など
 - ・授業で英文を書かせた場合は次回の授業でALTとのインタビューテストを行い、自分が書いた英文の内容について英語で簡単に要約させ、それについてALTからの質問に答える形をとった。

・エッセイライティングシステム Criterion を活用し、今年度は4つの課題を与えて期限までに提出させた。自由英作文の課題は以下のとおり。

(第1回 : 大学進学の意味)

(第2回 : 海外留学の目的)

(第3回 : リーダーシップと個人の役割)

(第4回 : 自分が勧める映画の批評を書く)



(2) 英語科発表会 (対象生徒 1学年～3学年の英語科生徒 119名)

- ・日時 : 平成27年8月31日(月) 9:00～16:30
- ・場所 : イズミティ21小ホール
- ・参加生徒 : 本校英語科生徒全員(1年～3年)
- ・内容 : スピーチコンテスト、レシテーション、プレゼンテーション、パネルディスカッション、ディベート、スキット等、全て英語による発表活動
- ・参観者 : 保護者、県内高校教員、近隣の中学校教員等

Presentation



Show & Tell



Debate



Speech Contest



・参加した生徒へのインタビュー記事（本校の英語科通信 3月1日発行分より抜粋）

Name: N. O (3年女子生徒)

Club Activity: Cheerleading club

Hobby: Dancing

Q: What are your favorite memories from the English Course Showcase this year?

“My favorite memory is the debate because I took part in it. I prepared for a long time for my speech. It was difficult to make a draft but my teammates helped me so I enjoyed it and I learned that it’s important to cooperate.”

Q: How did the Showcase motivate you to improve your English?

“I wasn’t good at speaking English in front of large audiences before I joined the English course Showcase. However, I overcame this by taking part in it.”

Q: What do you think about your three years in the English Program at Izumi High School?

“There are many English classes in the English Course in Izumi High School. I think this school’s strong point is speaking English in class. Grammar is also important but if I don’t speak in classes, I won’t have the opportunity to practice using the grammar I learned. I have to learn English more in university so I’ll use many things that I learned in Izumi High School.”

(3) 宮城明泉学園（明泉幼稚園）との英語による交流活動

- 日時、参加生徒 : 平成27年10月22日(木) 10時～12時(第2学年生徒38名)
平成28年 2月26日(金) 10時～12時(第1学年生徒41名)
- 場所 : 宮城明泉学園
10月22日 高森キャンパス: 〒981-3203 宮城県仙台市泉区高森2丁目1-3
2月26日 丸山キャンパス: 〒981-3121 宮城県仙台市泉区上谷刈4丁目1-1
- 内容 : 宮城明泉学園プリマスクール(英語のみで教育を行っているコース)を訪問し、園児との交流活動を英語で行った。



- 参加生徒へのインタビュー記事(本校の英語科通信3月1日発行分より抜粋)

Name: S. S(2年女子生徒) Club Activity: Cheerleading club

Hobby: Listening to music, watching movies, dancing

Q: What are your favorite memories from the MeySen visit?

“Playing games with all of the MeySen children in the gym.”

Q: How did the MeySen visit motivate you to improve your English?

“I was impressed that the children never used Japanese and enjoyed using English. I found that the activities for studying English were all interesting and exciting. I was excited to read and sing them. We are high school students so we have to study difficult grammar and read complicated sentences. I think we had forgotten how much fun it is to speak and read English. This visit reminded me that I like English and I want to speak English more. After the MeySen visit, I felt more enthusiastic about studying English.”

(4) 英語科合宿

- ・期 日 : 平成28年1月13日(水)～15日(金)
2学年英語科生徒 1月13日～1月14日(1泊2日)
1学年英語科生徒 1月14日～1月15日(1泊2日)
- ・場 所 : 「茂庭荘」 仙台市太白区茂庭字人来田西143-3
- ・参加生徒 : 英語科第2学年生徒 38名(男子8名、女子30名)
英語科第1学年生徒 39名(男子12名、女子27名)
- ・内 容 : 県内在住ALT8名の協力を得て、英語スピーチ、英語ディベートを中心とする活動をすると共に、異文化体験・英語によるコミュニケーション活動を行った。



- ・参加生徒へのインタビュー記事(本校の英語科通信3月1日発行分より抜粋)

Name: (M.Y)(1年女子生徒)

Club Activity: Kyudo (Japanese Traditional Archery)

Hobby: Listening to music and studying English

Q: What are your favorite memories from the English Camp?

“The speech contest and the culture quiz because I was able to win the speech contest and I enjoyed the British tea while talking to my friends, eating, and drinking.”

Q: How did the English Camp motivate you to improve your English?

“I think this camp is a great opportunity for us. We don't speak English in our everyday lives, so we were able to try to use English for many things, like communicating with our teachers and friends.

(5) オーストラリア語学研修

- ・日 時 : 平成28年3月12日～22日 (11日間)
- ・場 所 : オーストラリア クイーンズランド州
- ・参加生徒 : 本校第1学年生徒 65名 (普通科の生徒も含む)
- ・内 容 :
FCAC(Fraser Coast Anglican College) での授業
現地児童・生徒との文化交流 (日本文化の紹介)
ホームステイ

※ 以下は昨年度 (平成27年3月実施) のものを掲載



(実践上の工夫点、留意点等)

・様々な英語科の行事を通じて、コミュニケーションの手段として英語を使う機会を多くするとともに、普段の授業でも、授業開始時のウォームアップでマイクロディベート的なペアワークを取り入れたり、教科書で扱った内容について自分の意見を書かせたりするなどして、単に知識として英語を学ぶのではなく、読んだり聞いたりした内容について英語で発信させる活動を多くさせるように心がけた。

・定期考査、校内実力考査において、出題方法に工夫を加えた。具体的にはオリジナルのリスニングテストを出題し、さらに100字程度の自由英作文を課した。リーディングの分野については所見の英文を読んで内容を把握する問題を出題した。

(成果)

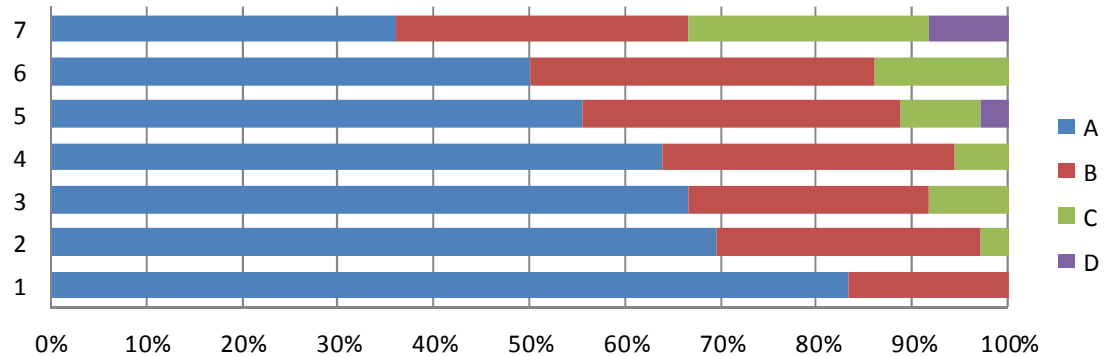
・本校英語科では先進的英語教育充実支援事業の拠点校として指定を受け、4技能を統合した実践的英語指導を行っている。そのような中で常に念頭においているのは、1, 2年の段階で実際の英語使用場面を多く経験させ、普段の英語学習において筆記試験のために学ぶのではなく、英語を使うことを意識して表現や文法を学ばせるということである。本校英語科の生徒は実際にコミュニケーションをとるための手段として英語を学んでおり、そのことが生徒たちの英語学習に対するモチベーションを高める契機となっている。今後は東京オリンピック・パラリンピックを具体的にイメージすることによって、それらを国際交流、異文化理解の機会としてとらえさせ、今まで以上に英語学習に対して主体的に取り組ませたい。以下は平成28年3月8日に本校英語科2年1組で行ったアンケートである。

・ 英語学習についてのアンケート(平成28年3月8日実施)(対象クラス 2年英語科1組 在籍38名 欠席2名)

		回答数 36			
		人数			
		A	B	C	D
1	英語科の各種行事が英語学習に対するモチベーションアップにつながっている。	30	6	0	0
2	英語科の各種行事が英語力向上につながっている。	25	10	1	0
3	今後も教室での英語学習に加えて外部の人と英語で交流する機会を多くもちたい。	24	9	3	0
4	泉高校英語科に入学して外国語、国際交流、異文化に対する興味・関心が高まった。	23	11	2	0
5	高校卒業後も英語を通じて、国際交流や異文化理解に努めていきたい。	20	12	3	1
6	オリンピックやパラリンピックはスポーツの競技力向上だけでなく、国際交流や異文化理解の機会としても、意義深いものである。	18	13	5	0
7	東京オリンピックやパラリンピックにおいて、英語力を生かしてボランティアとして大会に貢献してみたい。	13	11	9	3

A (良く当てはまる) B (だいたい当てはまる) C (あまり当てはまらない) D (当てはまらない)

英語学習についてのアンケート



	1	2	3	4	5	6	7
A	30	25	24	23	20	18	13
B	6	10	9	11	12	13	11
C	0	1	3	2	3	5	9
D	0	0	0	0	1	0	3

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

(オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点)

・学校現場において ICT を活用した英語教育を行う場合、実際の通信設備等の施設設備が不十分である。特に iPad や iPod を活用した授業や外部とのテレビ会議等の授業を考えた場合、Wi-Fi 等の環境がないためにアイデアはあっても実施が困難な場合が多い。少なくとも専門学科としての英語科が設置されている本校のような学校では Wi-Fi 環境を整え、より先進的な英語教育を実践できる施設設備面の充実が必要不可欠である。